

研究実施のお知らせ

研究課題名： 当院における脂肪乳剤の使用実態調査と適正使用促進に向けた取り組み

研究期間： 仙台市立病院倫理審査委員会承認後～2025年2月

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された診療録等の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2018年9月から2024年8月までの期間、当院に入院されたイントラリポス使用患者

【研究の目的と意義】

中心静脈栄養施行時は原則として静注用脂肪乳剤（以下、脂肪乳剤）を投与するように推奨されています。脂肪利用効率や副作用の観点より、静脈経腸栄養ガイドライン第3版では、脂肪乳剤の適切な投与速度を0.1g/kg/hr以下と推奨しています。本研究では投与速度の更なる適正化を図る取り組みを行い、その前後での使用実態調査を行います。

【研究の方法】

2018年9月から2024年8月まで期間、当院においてイントラリポスが使用された患者を対象とし、電子カルテを用いて後方視的に調査を行います。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（薬剤データ、診療記録、検査データ等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

当院処方済みの研究対象となります。

研究代表者：仙台市立病院 薬剤科 相澤雄人

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【利益相反の状況】

この研究は、各共同研究機関の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者様の情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 薬剤科 相澤雄人
仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号
電話：022-308-7111（代表）